

【2026年度（令和8年度）総合的な学習の時間・生活科 単元構想図】

そのテーマ・活動は…

- こどもの気付き、学びがあるか。
- こども達が自分の力で「できる」、「できた」実感をもてるか。
- 教師もこどもも熱意をもって取り組めるか。

【めざすこども像】

- 駅家西の町に誇りをもてる子
- 学びを地域や社会に発信できる子

活動に関わって…

- 「表現する」「実行する」地域・社会へ働きかける（発信する）活動を位置付ける。
- 活動規模（個人、学級、校内、家庭内、地域等）を検討する。
- 「だれに」「どのように」伝えるか考える。

- 「課題に取り組み、友人・地域・保護者に伝えよう」
- + 国外の学校との交流・発信（Zoom、ビデオレター等）
- = 自分自身だけでなく、異なる立場や地域の意見や考え方も尊重していく寛容な態度と多様性への理解を育む

【6年生】：地域の歴史・伝統文化を発信する。

- 古墳（古代）の保存活動 ・能・琴（中世）の体験
- 海外の学校との交流（篠原テキスタイルでプレゼント作り）
- 中学校区の地域・文化を交流し合う。

* 地域の遺跡および伝統文化を現代に伝え、未来へつなげようとする人々に出会い、実際に体験し、その学びを海外へ発信することを通じて、過去—現在—未来／地域—世界のスケールで自身と世界のつながりを意識し、その価値を尊ぶ姿勢・態度、コミュニケーション力を培う。

高学年（総合的な学習の時間）テーマ
学びを発信！～駅家西の町から～

【5年生】：平和教育を考える。

- 平和資料館（広島市）や人権平和資料館（福山市）などへの見学・市民平和のつどい→「ひとり一羽」への参加
- * 平和について考える活動を通し、未来も平和な世の中であるために自分達ができることは何かを考え、伝えていく力を育む。

- 「自分たちにもできることを考えよう」
- + 「自分で考えること」、「簡単に解決できない」ことへの気付き
- = 問題を他人事から自分事へとしていく。主体性と責任性を育む。

- 「地域の環境の課題や解決策を考えよう」
- + 「世界とのつながりはどうか？」
- = より広い観点で地域の課題や特色を捉え、考察する、思考の基盤を培う。

- 【4年生】：環境の課題や自分たちの住む街から未来を考える。
- ごみや水の問題／リサイクルの仕組み（篠原テキスタイル）
- 地域の伝統や文化および特色（バラ）／世界とのつながり
- * 地域の環境問題や伝統や特色について触れ、現状についての理解を深め、自分と地域の未来を結び付けて考え、実際に取り組み、まとめたり伝えたりする力を育む。

中学年（総合的な学習の時間）テーマ
みんなにやさしい駅家西の町

【3年生】：福祉について理解し、実践してみる。

- 人にやさしい工夫（UD）・アイマスク体験
- パラスポーツ体験 ・あすチャレ・車いす体験
- 工場見学（篠原テキスタイル）
- * 地域の福祉の取組への見学を通じ、誰もが安心して暮らす社会について考え、つくっていくための具体的な方法を知り、身近な環境で実践する力を育む。

- 「まちの工夫について理解し、実践してみよう」
- + 「学校はどう？できることはない？」
- = より良い社会を創る視点を獲得し、身近なところで実践する力を養う。

- 「つながり合い、関わり合い、支え合う場（公共施設）を知ろう」
- + 「なぜ大切なの？」
- = 社会の成り立ちや関わり合う仕組み、その価値を捉える視点を養う。

【2年生】：つながりを支える場（公共施設）を知る。

- 動物／植物／地域の方を知り、共に活動する。
- 図書館／北部市民センター／交流館／篠原テキスタイルを知る。
- 1年生との交流をする。
- 野菜を育て、給食の食材とする。
- * 地域での施設の見学などを通じ、つながりを支えていく場としての機能と、そこで学びについて理解し、それらを尊重する態度・姿勢を育む。

低学年（生活科）テーマ
すごい駅家西～つながりを見つけよう～

- 【1年生】：身近な人（家族・友人・新1年生）・自然とつながる。
- 家庭／友人／学校 ・地域を知る。 ・自然環境に触れる。
- 篠原テキスタイルと綿花を植える。
- * 身近な人・自然に親しみ、自分とそれらの様々なつながりを知り、その中に生きていることを理解し、尊重する態度・姿勢を育む。

- 「家族・友達・小さい子や自然とのつながりを知ろう」
- + 「もっとこんな所になりたい」
- = 身近な環境や社会を多様な観点で観る眼・姿勢を養う。

◆単元構想図の見方

【学年】学習テーマ・内容

・学習素材

*学びのストーリー

(学びを振り返る、次の学びを意識するなど、学年同士のつながりを重視)

・「(教師からの問い)」、学習活動へのヒント

+ ESDの視点

= ESDの視点を加えることによって育まれる力(持続可能な社会の形成を担う人として期待される力)

◆めざすこども像について

・駅家西の町に誇りをもてる子

- ① 地域の良い面・弱い面ともに当事者意識をもって見つめる。
- ② 世界的な視点(世界の課題を「遠くの出来事」から「自分の足元」に引き寄せる視点)から、その何に価値があるのか理解する。
→ 自分が積極的に関わり、地域の努力を知ること。
先人が努力して築いてきたことに対して敬意をもち、自分自身がその一翼を担う(責任をもつ)こと。
※自分とは無関係(=無責任)にしない。

・学びを発信できる子

- 学んだことを発信するだけでなく、その学びを自分の暮らしや地域・社会、未来と「つないで」いけるよう、学びを意味付けること。
- ※「発信のための学習」にしない。
 - ※持続可能な交流になるようにする。
 - ※2023年度より
インドネシア・スクマ学園とオンライン交流 実施。

駅家西の様々な地域の主体と「つながり」ながら、福祉・環境・文化への取組に触れ、持続可能な社会づくりに向けて自分で考え、行動する力を育む。

